

## 手術前後に注意が必要なビグアナイド系糖尿病薬一覧

ビグアナイド系糖尿病薬(メトホルミン製剤)は、稀ですが、重篤な副作用として**乳酸アシドーシス**が知られています。乳酸アシドーシスの症例に多く認められた特徴としては以下の通りです。

- 1)腎機能障害 2)脱水、シックデイ、過度のアルコール摂取などの状態 3)肝機能障害、心血管・肺機能障害、**手術前後(飲食制限を伴わない小手術は除く(眼科:白内障手術等))** 4)高齢者 など

上記の患者は乳酸アシドーシスを起こす危険性があるため、禁忌または慎重投与となっています。

当院の内科としては、下記に示す休業期間を目安として、周術期指示を行っています。  
休業またはインスリン治療へ切り替えるなど適正な周術期血糖コントロールをお願い致します。  
また、血糖コントロール不良で判断の難しい場合は、事前にかかりつけ医または当院糖尿病内科へコンサルト下さい。

※休業期間はあくまでも目安ですので、緊急の場合などは主科のご判断でご対応お願い致します。

薬品名	成分名	休業期間
イニシク配合錠	アログリプチン/メトホルミン	手術前後2日間
エクメット配合錠LD	ビルダグリプチン/メトホルミン	
エクメット配合錠HD	ビルダグリプチン/メトホルミン	
グリコラン錠	メトホルミン	
ジベトス錠	ブホルミン	
ブホルミン塩酸塩腸溶錠	ブホルミン	
メタクト配合錠LD	ピオグリタゾン/メトホルミン	
メタクト配合錠HD	ピオグリタゾン/メトホルミン	
メアナ配合錠LD	アナグリプチン/メトホルミン	
メアナ配合錠HD	アナグリプチン/メトホルミン	
メグルコ錠	メトホルミン	
メトホルミン塩酸塩錠	メトホルミン	

### 参考文献

公益社団法人 日本糖尿病協会 メトホルミンの適正使用に関するRecommendation  
日本医学放射線学会 造影剤安全管理委員会

薬剤部・糖尿病内科 2019年3月20日初版作成  
2019年8月1日改定  
2021年8月1日改定  
2022年8月31日改定